

「広野幼稚園 最後の運動会」 素敵な思い出をありがとうございました！

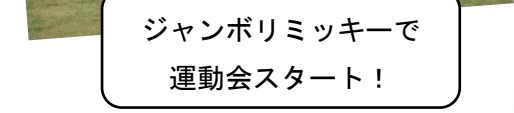
9月30日（土）に行われた運動会には、ご家族をはじめご来賓の皆様も多数お越しいただき、広野幼稚園として行われる最後の運動会と一緒に楽しみ、また、大いに盛り上げていただきありがとうございました。お客様からの大きな拍手や声援は、子ども達にとってとても嬉しく、やり遂げた満足感や達成感でいっぱいだったと思います。

友達同士で、考えを出し合ったりチームで心を一にする事の大切さに気付いたり、時には悔し涙を流したりしながら取り組みました。たくさんの経験を楽しみ、そして乗り越えながら、一人一人の心の成長に繋がっていると感じます。それらを生かしこれからの意欲や自己発揮につながるよう、今後も支えていきたいと思えます。


『にじいろみの たのしいたからじま うんどうかい』




4歳も司会をしたよ



ジャンボリミッキーで
運動会スタート！




お家の人とバルーン



力を合わせて！



サーキット：優しい鬼の宝島



みんなで玉入れ！

勝ち負けの結果よりもそれに向かう過程(プロセス)の大切さ

運動会の取り組みでは、勝敗がつきものです。毎日の取り組みの中でも、「勝った!」「〇〇ちゃんが1番」などという言葉が出るのも当然です。その内、勝ったら嬉しいし負けたら悔しい、「勝ちたい!」といった色々な感情が子ども達の心にも揺れ動いていました。

ある日のこと、5歳児のリレーで勝ちたい気持ちが芽生えていたA児は、チームの第1走者の友達がスタートラインに立つとすぐに「頑張れ!」と声を出して応援を始めました。一生懸命応援し、自分自身も一生懸命走りましたがその日の結果は2位。悔しくて涙が出ているA児に教師は声を掛けました。「どうしたの、負けたのが悔しいの?」するとA児は、「うん、次は頑張る!」と力強く答えました。A児の心には「乗り越えようとする力」や「友達と力を合わせて頑張ろうとする力」が育っていることを嬉しく思いました。

大事なものは、結果よりもそこに至るまでの過程の中で、子ども達がどんな感情を抱き、どのように向き合い、考え、乗り越えようとしたり自信をつけていったりすることではないかと思うのです。私達大人は、子ども達の心の動きに寄り添い、見守り、向き合うことが大切だと思います。

小学校との日常で、関わりが深まっています

小学校での生活の日常では、運動会のムードを小学生も一緒に楽しんだり応援してくれたりしました。1年生は、20分休み時間に手作りの旗をもってダンスを見たり「がんばれ〜」とリレーの応援をしてくれたり、その後で「頑張っていたよ」と話を聞かせてくれたりもしました。

5、6年の高学年のお兄さんお姉さんは、お昼休みに4歳児の部屋へやってきてくれて、「おさかなダンス」を一緒に踊って楽しみました。

会場を飾る応援の旗をたくさんの学年が書いてくれたおかげで、当日の校庭が賑やかになりました。たくさんの人たちに応援してもらい、幼稚園の子ども達は嬉しい気持ちで運動会を迎えることができ感謝しています。



閉園にあたって…

「 あいगतよう 広野幼稚園 」メッセージボード

閉園まであと数か月となり、これまで親しんできた広野幼稚園にメッセージを運動会当日に募ったところ、たくさんのメッセージを書いいただきありがとうございました。来賓で来られていた方の中には、「加茂幼稚園」出身の方もおられ、思い出話を聞かせていただくことも出来ました。

寄せていただいたメッセージは3月1日(金)の閉園式に披露させていただきます。第2回目は音楽会の機会を予定しています。



来賓の皆さんも書いてくださっています

